

渡部正義町長就任

2期目のスタート



選ばれる町への挑戦!

就任式で決意を述べる渡部町長

今後の町政運営の方向性

こうした課題と特性を踏まえ、2期目の町政運営では、「**選ばれる町への挑戦**」をスローガンに掲げました。

この考えのもと、次の3つの方向性に沿って、取り組んでまいります。

方向性①
南会津町の優位性を活かしたまちづくり

方向性②
町民が今後とも住み続けたいと思えるまちづくり

方向性③
他地域の人から評価され選ばれるまちづくり

特に重要となるのが「**選ばれるまちづくり**」です。人口対策や地域経済の活性化など、地域の持続的な発展に向けた取組を進めるうえで、重要な役割を果たすものと考えています。

「選ばれる町」の実現に向けた5つの目標

上記の3つの方向性を踏まえ、「**選ばれる町**」の実現に向け、次の5つの目標を定めました。

目標①
安心して生活できる場所として選ばれる町

目標②
子育てや教育を行う地域として選ばれる町

目標③
仕事をする場所や企業立地先として選ばれる町

目標④
観光、交流、体験の地として選ばれる町

目標⑤
選ばれる町を実現するための組織体制の強化

これらの目標に基づき、着実に施策を進めてまいります。

はじめに

南会津町長として、2期目の町政を担うこととなりました渡部正義です。

4月14日に告示された南会津町長選挙への立候補にあたっては、多くの町民の皆さまから、励みや期待の言葉をいただきました。

一方で、急速に進む人口減少や地域活力の低下に対する不安の声も寄せられており、町長としての責任の重さをあらためて感じております。

2期目におきましても、町民の皆さまをはじめ、関係団体や事業者の皆さまの声にしっかりと耳を傾け、初心を忘れることなく、町政運営に取り組んでまいります。



4月21日当選証書附与式

町の課題

本町が抱える最大の課題は、「**急速に進む人口減少と若者の流出**」です。

これにより、地域経済の活力低下や担い手不足、さらには地域を支える仕組みの弱体化が懸念されます。また、税収や地方交付税の減少など、財政面への影響も避けて通ることはできません。

町の優位性

一方で、本町にはまだ十分に活かされていない強みもあります。豊かな自然環境を持つことや大地震の発生確率が低い安全な場所であること、首都圏からのアクセスが良いことなどは、大きな可能性を持つ地域資源であると考えられます。

これらの特性を活かしながら、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

結びに

目標の達成に向けては、町民の皆さまのご理解とご協力、そして職員一人ひとりの力が不可欠です。町長として先頭に立ち、力強い南会津町の実現に向けて全力を尽くしてまいります。

町の将来像である「自然と人が笑顔を育むまち」とともに生きるみんなのふるさと」に向け、心一つにして歩んでまいります。よろしくお願い申し上げます。



4月30日初登庁

渡部町長2期目の町政運営に関する公約はコチラ▼



南会津町長選挙

南会津町議会議員補欠選挙

選挙結果

4月14日に告示された南会津町長選挙及び南会津町議会議員補欠選挙は、どちらも届出のあった候補者が1名であったため、公職選挙法に基づき、投票は行わないこと（無投票）となりました。

なお、南会津町議会議員補欠選挙は、高橋一成氏が当選となりました。



当選証書を受け取る高橋一成氏